

株式情報

(2018年9月30日現在)

株式の状況

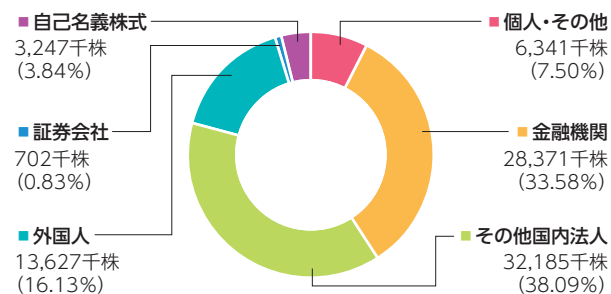
発行可能株式総数	288,000,000 株
発行済株式の総数(うち自己株式 3,247,883株)	84,476,500 株
株主数	10,742 名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本航空株式会社	4,398	5.41
ANAホールディングス株式会社	4,398	5.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ 京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口)	3,484	4.28
株式会社三菱UFJ銀行	3,408	4.19
株式会社みずほ銀行	3,300	4.06
三菱地所株式会社	3,111	3.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,838	3.49
大成建設株式会社	2,831	3.48
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 日本通運口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	2,337	2.87
株式会社日本政策投資銀行	1,829	2.25

(注)持株比率は自己株式(3,247,883株)を控除して計算しております。

所有者別株式数分布



VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの100%植物油のインクおよびFSC®認証紙を使用し、印刷工程で有害廃液を出さない[水なし印刷方式]を採用しています。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。 http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/
株主名簿 管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-288-324(フリーダイヤル)

各種お手続きのお取扱窓口について

住所変更や買取・買増請求等株主さまの各種お手続きのお取扱窓口は以下の通りです。

- 証券会社等に口座をお持ちの場合
お取引の証券会社等になります。
- 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)

電話でのお問い合わせ

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

TEL:0120-288-324(フリーダイヤル)

※土・日・祝日を除く9:00~17:00

・各種手続きお取扱店

みずほ証券

本店および全国各支店
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取り扱いいたします。

みずほ信託銀行

本店および全国各支店
※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。



日本空港ビルディング株式会社

Japan Airport Terminal Co., Ltd.

〒144-0041 東京都大田区羽田空港三丁目3番2号(第1旅客ターミナルビル)

TEL:03-5757-8000(代表)

<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/>



株主・投資家の皆さまへ

第75期 株主通信 第2四半期

2018年4月1日～2018年9月30日



日本空港ビルディング株式会社

Japan Airport Terminal Co., Ltd.

証券コード：9706

TOP NEWS SALE

トップメッセージ

安全対策への投資を優先的に行うことで、羽田空港ターミナルの「安全性・信頼性」を高め、当社グループの企業価値を最大限に引き上げてまいります。

自然災害等の影響のため、 旅客数の増加率が鈍化しました。

上期の事業環境として、増加傾向にあった旅客数は、7月以降、自然災害等の影響で増加率が鈍化し、また訪日外国人の旅行消費額に占める買物代は減少に転じました。

羽田空港国内線旅客数は、自然災害の影響で9月に前年同月を下回ったことや、航空会社による欠航の影響もあり、前年同期比では微増となりましたが当初予想は下回りました。国際線旅客数では、関西空港においては、台風被害により空港が閉鎖された影響で当初予想を下回りましたが、羽田空港、成田空港、中部空港におきましては、関西空港の影響による他空港への振替便および臨時便もあり、当初予想は上回る結果となりました。

上期は前年同期比で増収増益となりました。 中期業績予想につきましては上方修正いたしました。

上期につきましては、本年4月27日に、東京国際空港ターミナル株式会社(以下「TIAT」という。)を連結子会社化したことにより、今年度上期の業績から、TIATの業績を連結財務諸表に取り込むことにより、売上高、営業利益が大きく増加し、連結子会社化にあたり発生する一過性の特別損益が発生しました。また、商品売上におきましては、7月以降、免税店での商品売上の伸びの

鈍化が見られましたが、増加傾向は続きました。これにより、売上高は1,374億円、営業利益は129億円、経常利益は117億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は282億円となり、TIAT連結子会社化の影響を除きましても、前年同期比で増収増益となりました。

下期につきましては、費用面において羽田国際化対応の本格化や、第1旅客ターミナルのリニューアル工事に着手したことによる費用増や、上期からの一部費用の先送りのほか、2020年に向けたさまざまな取り組みが本格化する中で、旅客ターミナルの施設整備での新規工事案件の発生などによる修繕費の増加や、人財確保に伴う人件費の増加により、当初計画を上回ることを見込んでおります。また、事業環境としては、海外経済の不確実性や、自然災害の影響により東アジア地域の訪日外国人需要が下振れするリスクを懸念しているものの、東南アジアや欧米諸国からの訪日外国人需要が増加していることから、旅客数は増加するものと見込んでおります。さらに訪日外国人の消費動向においては、中国人の買物代に減少傾向が見られますが、新規店舗展開による増収効果や、より一層の営業施策の強化により、空港免税店では引き続き売上増を見込んでおります。その結果、本年5月に発表しました通期の業績予想を上方修正し、売上高2,771億円、営業利益は217億円、経常利益は194億円、親会社株主に帰属する当期純利益は324億円を予想しております。

中期経営計画の施策を着実に推進。 事業環境の不確実性が高い状況にある中、 2018年度の売上高水準を上回るよう努めてまいります。

「強みを活かした事業領域の拡大・収益多元化」について

2016年度から2020年度までの5年間を計画期間とする中期経営計画「To Be a World Best Airport 2020」の進捗状況についてですが、はじめに、「強みを活かした事業領域の拡大・収益多元化」では、羽田空港跡地第1ゾーン整備事業(第一期事業)の開発について、当社が出資している鹿島建設株式会社を代表企業とする特別目的会社「羽田みらい開発株式会社」が、本年10月31日に起工式を行い、2020年の「まちびらき」を目指して施設整備を開始しました。

このほか、市中免税事業では、今期に入りましても、引き続き中国人を中心に購買客数が増加し、昨年7月に導入した消費税免税販売場での販売区画の拡張や、国内外での広告宣伝の強化を行ったことにより業績は堅調に推移しました。下期は、消費税免税販売場の導入効果が一巡することもあり、通期の売上は、当初予想の6億円増の101億円を予想しておりますが、引き続き、SNSでの宣伝動画の配信など、広告宣伝を強化するなどの営業施策に努めて、さらなる売上増を目指してまいります。

「羽田空港の“あるべき姿”の追求」について

次に、「羽田空港の“あるべき姿”の追求」では、羽田空港の国際線拡張に向けた旅客ターミナル整備を進めており、国内線側・国際線側ともに計画通り順調に進捗し、本年5月には国内線旅客用の第2旅客ターミナル北側ボーディング・ステーションの供用を開始いたしました。また、12月10日には第2旅客ターミナル北側サテライトを供用開始します。さらに、10月には、第1旅客ターミナルにおける旅客利便および館内環境の向上のため、1階到着ロビーのリニューアル工事に着手しました。このリニューアルでは、手荷物受取場内のスロープの幅や勾配を変更する環境整備、リムジンバス等の乗客のための待合スペースを新設いたします。

このほか、本年7月に羽田空港の場を活用した新たな価値の創造を目指し、設立された「株式会社羽田未来総合研究所」では、当社グループが有する経営資源とノウハウをフルに活用し、日本の地域産品や芸術、文化の情報発信の拠点として、あらゆるコンテンツのハブ機能を構築することで、既存事業を強化し、新規事業の創造に繋げてまいります。

「収益基盤再構築・競争優位の確立」について

最後に、「収益基盤再構築・競争優位の確立」としては、第1旅客ターミナル5階エリアに、羽田空港での新しい過ごし方として、空港での時間を有意義にお過ごしいただくことをコンセプトに、ヘッドスパ、オーダーメイドスーツ、ボクシングフィットネスなど「コト体験」を集約した複合商業施設「THE HANEDA HOUSE」が、12月19日にグランドオープンいたします。

これにより、空港で提供するサービスを多様化し、羽田空港の魅力さをさらに高めるとともに、不動産事業における収益の最大化を図ってまいります。

「2020年度の収支計画、ガイドライン」について

こうした取り組みを進める中、現在掲げております2020年度の収支計画、ガイドラインにつきましては、達成することを視野に残りの計画期間の事業戦略を推進してまいります。一方で2019年度、2020年度の具体的な収支計画につきましては、訪日需要の拡大や物品販売での堅調な売上増があるものの、自然災害

の発生などによる訪日需要の減少リスクや、訪日外国人の消費動向など、事業環境の不確実性が高い状況にあることから、これらの動向を見据えて2018年度の売上高水準を上回るよう努めてまいります。

5年連続で世界最高水準である 「5スターエアポート」を獲得。

おかげさまで、本年9月に羽田空港旅客ターミナルは英国SKYTRAX社が実施する“Global Airport Rating”において、5年連続で世界最高水準である「5スターエアポート」を獲得しました。当社ではこれからも、日本の空の玄関口として、すべての空港スタッフが常に高い意識を持ち、お客さま目線に立った施設とサービスの提供を心がけるとともに、羽田空港の“あるべき姿”を追求し、世界中のお客さまから信頼され続ける空港を目指してまいります。

中間配当金を増配し1株当たり23円とし、 年間配当金は1株当たり44円を予定。

株主の皆さまへの利益還元につきましては、羽田空港の一層の機能強化が求められる中、今後の大規模投資を考慮して内部留保を確保すると同時に、安定した配当を継続して実施することを基本方針としております。

当期の中間配当金につきましては、上期業績は当初予想を上回りましたので、前回予想から2円増配して1株当たり23円といたします。また、期末配当金につきましては、下期の旅客動向など不透明なところもあることから据え置くこととし、年間配当金は1株当たり44円を予定しております。

株主の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

決算ハイライト (2019年3月期 第2四半期連結業績)

売上高	1,374 億円
営業利益	129 億円
経常利益	117 億円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	282 億円



代表取締役会長兼CEO

鷹城 勲

代表取締役社長執行役員兼COO

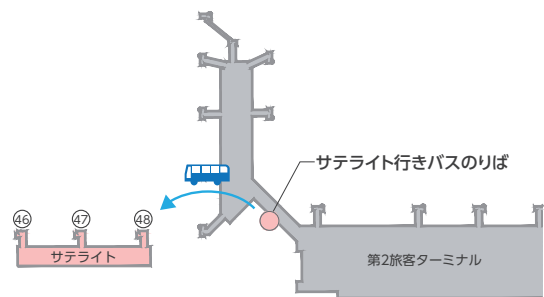
横田 信秋

第2旅客ターミナル サテライト施設工事竣工 12月10日から供用を開始

羽田空港第2旅客ターミナルの利便性・快適性・機能性を向上させるため、国内線搭乗ゲートを備えたサテライト施設の整備工事を進めておりましたが、当施設はいよいよ12月10日より供用を開始いたします。

当施設では、従来の施設とは異なる空間演出、時間の過ごし方をお客さまにご提供いたします。

今後も皆さまにご満足いただけるターミナルビルを目指して、さらなるサービス向上に取り組んでまいります。



※サテライトには、第2旅客ターミナル北側より、専用バスが運行しております。

● 第2旅客ターミナル サテライト施設の概要

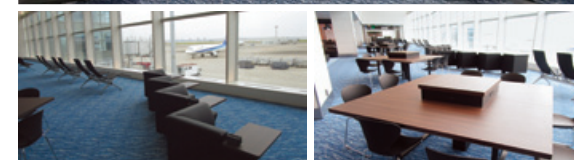
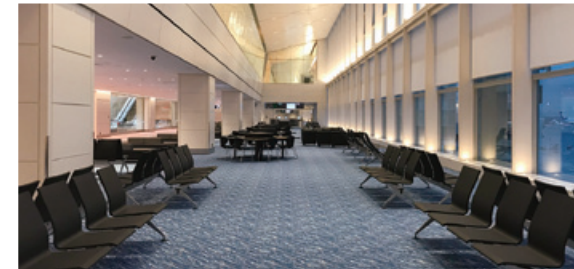
名 称	東京国際空港第2旅客ターミナルサテライト
供 用 開 始	2018年12月10日
建 築 面 積	約4,100㎡
延 床 面 積	約11,400㎡
階 数	地上3階
主 要 機 能	出発ゲートラウンジ、到着コンコース、バス発着場
搭 乗 ゲ ート	3カ所(46～48番)

ポイント 1 ラウンジのような環境を演出

出発フロアを2階、到着フロアを3階に配置し、2階を吹き抜けにすることで、ラウンジのような環境を演出し、ご搭乗前の旅客の皆さまにゆっくりお過ごしいただける広々とした空間をご提供いたします。

ポイント 2 さまざまなニーズに合った過ごし方を提供

ビジネスやレジャーなどシーンに合わせた設備を配置することで、お客さまの様々なニーズに沿った空間を提供してまいります。



第1旅客ターミナル リニューアル工事に着手

第1旅客ターミナルは1993年の供用開始以来、国内航空ネットワークの拠点ターミナルビルとして、25年の長きにわたり多くのお客さまにご利用いただいておりますが、本リニューアルでは、2020年以降も見据え、羽田空港をより一層魅力的な場所として多くの人にご利用いただけるよう、経年劣化と環境演出の改善のため、10月10日リニューアル工事に着手しました。

工事期間中は、工事に伴う各種規制により皆さまにご不便をおかけいたしますが、より便利で魅力的なターミナルビル作りを目指してまいりますので、皆さまのご協力とご理解をお願いいたします。

● 第1旅客ターミナルリニューアル工事の概要

対象エリア	地下1階および1階 旅客エリア	設計監理者	梓設計・隈研吾建築都市設計事務所・設計共同企業体
工事内容	内装変更、バス待合スペースの整備等	技術アドバイザー	株式会社三菱地所設計
期 間	2018年10月10日から2019年9月末日(予定)	施 工 者	大成建設株式会社



1階到着ロビー(イメージ)

複合商業施設「THE HANEDA HOUSE」

12月19日グランドオープン

～ 羽田空港での新しい過ごし方をご提案 ～

第1旅客ターミナル5階エリアに、「羽田空港での新しい過ごし方」のご提案として、「コト体験」を集約した複合商業施設「THE HANEDA HOUSE」が12月19日にグランドオープンいたします。

先行して、2017年5月にはレンタルオフィス・ビジネスラウンジを提供する「リージャスエクスプレス」、2018年10月にはシミュレーションゴルフ・完全個室型のマンツーマンレッスンができる、「GDO Golfers LINKS HANEDA」がオープンいたしました。

12月のグランドオープンでは、ボクシングフィットネスや癒し系リラクゼーション、Eコマースと連携するスマートショップ、ライブレストランといった店舗の出店を予定しております。環境空間として、滑走路を眺められる眺望も活かし、開放的な空間を演出いたします。

なお、ライブレストランは、「EXILE」や「三代目J Soul Brothers」等が所属するLDH JAPANグループによる初業態・初出店となります。レストラン内にライブステージを設置し、食事をしながら歌や演奏を楽しむことができます。



[THE HANEDA HOUSE概要]

開発場所	第1旅客ターミナル5階 マーケットプレイス	業態	レンタルオフィス、ゴルフスタジオ、ボクシングフィットネス、リラクゼーション、Eコマーススマートショップ、ライブレストランなど
店舗数	14店舗	営業時間	10:00～20:00(一部店舗を除く)
オープン日	2018年12月19日(一部店舗を除く)		

羽田空港防災対策

当社は、経営方針の1つとして「ターミナルビルにおける絶対安全の確立」を掲げており、すべてのお客さまに安心、かつ充実した時間や空間を体感していただくことが、当社の重要な責務と考えております。その実現に向けて、ハード面、ソフト面でさまざまな防災対策に取り組んでおります。

防災訓練の実施

各種の防災訓練を空港関連事業者と一体になって定期的実施することで、空港スタッフの意識、知識、認識の徹底を醸成



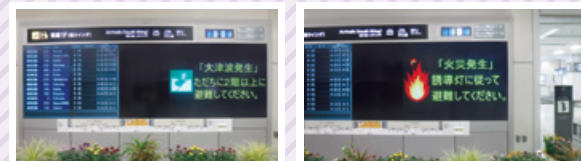
空港スタッフへの救命講習や救護研修の実施

災害時の負傷者対応を想定し、スタッフが的確かつ迅速な対応を図ることができるよう講習等を定期的実施



災害時の避難誘導設備の整備

館内フライトモニターおよびゲート内モニターに緊急地震速報や津波などの警報を即時に表示するシステムを導入



大津波避難扉の設置

大津波警報が発表された場合の下層階からの避難を想定しB1階～1階に大津波避難扉を設置



災害用備蓄品

東京都条例により、帰宅困難者(約11,000人)が3日間滞留できる災害用備蓄品(飲料水・非常食・毛布等)を備蓄



TOPICS 1

SKYTRAX社“Global Airport Rating”5年連続 「5スターエアポート」を獲得



羽田空港旅客ターミナル^(注1)は英国のSKYTRAX(スカイトラックス)社^(注2)が実施する“Global Airport Rating”において、5年連続で世界最高水準である「5スターエアポート」を獲得いたしました。

この1年間、国内線・国際線ともに、多様化するお客さまのニーズをくみ取り、訪日旅客も利用しやすい店舗・設備の拡充など、さらなる旅客の利便性および快適性を追求してまいりました。

その結果、おかげさまで空港スタッフのサービス水準や施設の使いやすさ、館内の清潔さなどさまざまな項目で引き続き高い評価をいただくことができました。

これからも、日本の空の玄関口として、すべての空港スタッフが常に高い意識を持ち、お客さま目線に立った施設とサービスの提供を心がけるとともに、羽田空港の“あるべき姿”を追求し、世界中のお客さまから信頼され続ける空港を目指してまいります。

(注1)国内線第1、第2旅客ターミナルは当社が、国際線旅客ターミナルは東京国際空港ターミナル株式会社が、それぞれ所有・管理・運営をしています。
(注2)1989年創立の英国に拠点を置く航空サービスリサーチ会社。世界の空港や航空会社の評価を行っており、評価の項目は多岐にわたっています。



TOPICS 2

訪日旅行者向けポータルサイト 「Flying Visit Japan」を開設

当社と株式会社羽田未来総合研究所は7月20日に、訪日外国人旅行者向けポータルサイト「Flying Visit Japan」を開設しました。

スマートフォンやタブレット端末を使って情報を収集する旅行者が急増する中、日本人はもとより初めて日本を訪れる外国人旅行者からリピーターまで、最新の、面白深く、役立つ情報を、「羽田発」で提供しています。

訪日外国人旅行者にとっては「日本を旅する前の予習」を、日本人旅行者にとっては「日本の魅力再発見」を、テーマに旅の情報を5カ国語(日本語、英語、中国語繁体字、中国語簡体字、韓国語)で発信していきます。



ポータルサイト
「Flying Visit Japan」
の概要

名称	Flying Visit Japan
開設日	2018年7月20日
URL	https://flyingvisitjapan.com/
制作協力	株式会社羽田未来総合研究所
製作著作	日本空港ビルデング株式会社

TOPICS 3

羽田空港のグルメがさらに充実

中華料理 彩鳳



かつて羽田空港で最高級の料理とサービスを兼ね備えたレストラン「中華料理 彩鳳」が復活オープン。当時の人気メニューに加え、新時代を感じさせる新しいメニューなど自慢の一品の数々をお楽しみください。

第1旅客ターミナル3階 マーケットプレイス
営業時間 11:00~21:00(L.O.20:30)



焼肉 新宿幸永

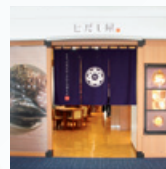


焼肉激戦区の新宿歌舞伎町で大人気の「焼肉 新宿幸永」がオープン。看板商品の厚切り牛タンやホルモンをはじめ、羽田空港限定セットメニュー等もご用意。厳選されたお肉と秘伝のタレが奏でる「極みの味」をお楽しみください。

第1旅客ターミナル5階 マーケットプレイス
営業時間 11:00~22:00(L.O.21:00)
(土日祝日は10:00~21:00)(L.O.20:00)



七だし屋



ベースとなる出汁には「鰹」・「鯖」・「宗田鰹」・「鯖」・「うるめ鰯」・「真鰯」・「いりこ」の七種の節を使用。コク深く風味豊かな味わいを実現しました。多加水麺のモチモチとした食感はスープとの相性が抜群です。

第1旅客ターミナル2階
出発ゲートラウンジ内北ウイング
営業時間 6:00~20:00
(L.O.19:45)

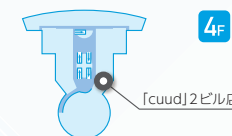


カレーうどん専門店 「cuud」2ビル店



日本料理界「現代の名工」の一人である“長島 博”監修・指導の「cuud」2ビル店がオープン。和風出汁にスパイスを加え、季節の野菜をじっくりと煮込んで仕上げたスープとオリジナル麺がよく絡むこだわりの一品です。

第2旅客ターミナル マーケットプレイス4階
営業時間 10:30~21:30(L.O.21:00)



お台場に、成田国際空港に、新店舗オープン

「Air Bic Camera ダイバーシティ東京 プラザ店」 11月2日にオープン

当社と株式会社ビックカメラが共同出資したAir BIC株式会社の新店舗「Air Bic Camera ダイバーシティ東京 プラザ店」が11月2日にオープンしました。

当店は、和をイメージした店舗デザインを施し、訪日外国人需要の高い商品を厳選して取り扱う一方で、日々のお買い物としてもご利用いただけるよう、日本人のお客さまにもニーズの高い商品も取り扱います。

お台場エリアには、すでに「Air Bic Camera アクアシティお台場店」が展開しておりますが、訪日外国人の増加に伴うさらなる需要を受けて、「Air Bic Camera ダイバーシティ東京 プラザ店」との2店舗を連携させることで品ぞろえやサービスを充実させ、多様なニーズにお応えしていきます。



店舗概要

店舗名	Air Bic Camera ダイバーシティ東京 プラザ店
開店日	2018年11月2日
所在地	東京都江東区青海1-1-10 ダイバーシティ東京 プラザ2階
営業時間	10:00～21:00

「GOBI」ポップアップストアが 成田国際空港第2ターミナルに登場!

上質なモンゴリアンカシミアで定評のある「GOBI(ゴビ)」を羽田空港で展開しておりますが、このたび、成田国際空港でもポップアップストアを期間限定でオープンいたしました。

定番アイテムであるオーガニックカシミアストールを始め、軽くて暖かい、そして上質な光沢を放つカシミア100%アイテムを取り扱っております。



店舗概要

店舗名	「GOBI」ポップアップストア
展開場所	成田国際空港第2ターミナル4階
営業期間	2018年9月28日～2019年2月28日
営業時間	8:00～20:00



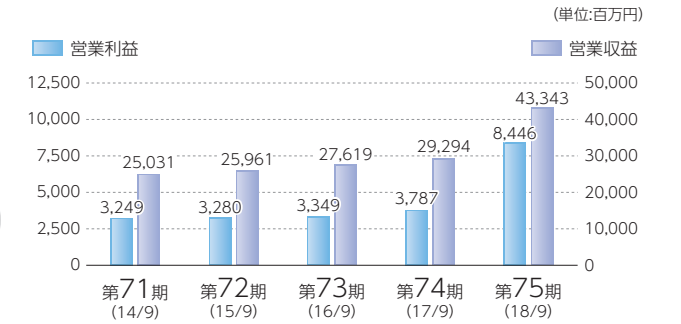
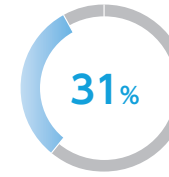
事業別概況

施設管理運営業



対前年同期比
増収増益となりました。

- 羽田空港国内線および国際線航空旅客数の増加による、旅客取扱施設利用料の増加
- 羽田空港国内線旅客ターミナルにおける事務室の貸室増加による、家賃収入の増加および羽田空港国際線旅客ターミナルにおける家賃収入の増加

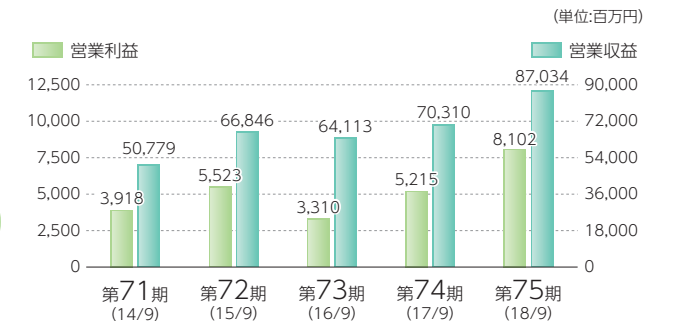
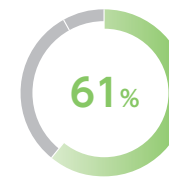


物品販売業



対前年同期比
増収増益となりました。

- 羽田空港国内線航空旅客数の増加による、国内線売店売上の増加
- 訪日外国人旅客数の増加による、市中免税店の売上および国際線売店売上の増加

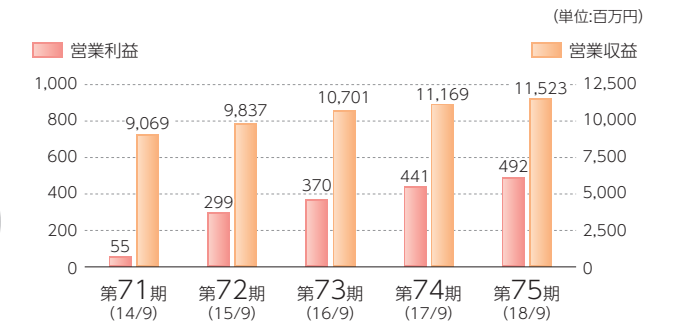
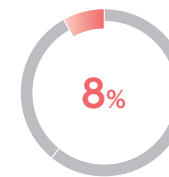


飲食業



対前年同期比
増収増益となりました。

- 訪日外国人旅客数の増加による、羽田空港国際線旅客ターミナルにおける飲食店舗売上の増加
- 顧客外国航空会社へ増便や新規取引開始による、機内食売上の増加



四半期連結 貸借対照表のポイント

① 資産合計

東京国際空港ターミナル株式会社(以下、「TIAT」という。)の連結子会社化による有形固定資産の増加等により、前期末に比べて2,344億7千万円増加の4,738億6千万円となりました。

② 負債合計

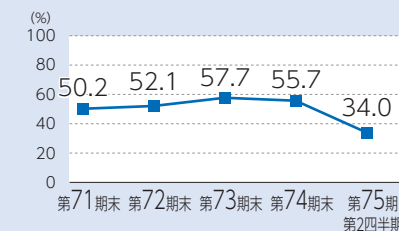
TIATの連結子会社化による長期借入金の増加等により、前期末に比べて1,725億2千3百万円増加の2,757億5千6百万円となりました。

③ 純資産合計

利益剰余金の増加や、非支配株主持分の増加等により前期末と比べて619億4千7百万円増加し1,981億3百万円となりました。

この結果、自己資本比率は34.0%(前期末55.7%)となりました。

■ 自己資本比率



(単位:百万円)

四半期連結貸借対照表	前期 2018年3月31日現在	当第2四半期 2018年9月30日現在
資産の部		
流動資産	71,985	132,943
固定資産	167,404	340,916
有形固定資産	117,987	272,761
無形固定資産	1,889	40,728
投資その他の資産	47,527	27,426
① 資産合計	239,389	473,860
負債の部		
流動負債	37,685	45,788
固定負債	65,547	229,967
② 負債合計	103,233	275,756
純資産の部		
株主資本	128,408	154,659
その他の包括利益累計額	4,954	6,616
非支配株主持分	2,793	36,827
③ 純資産合計	136,156	198,103
負債純資産合計	239,389	473,860

(単位:百万円)

四半期連結損益計算書

	前第2四半期 自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日	当第2四半期 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日
④ 営業収益	108,066	137,423
営業総利益	50,019	70,694
⑤ 販売費及び一般管理費	43,270	57,732
営業利益	6,748	12,961
営業外収益	2,212	948
営業外費用	212	2,148
経常利益	8,748	11,761
特別利益	1	25,960
特別損失	12	2,798
税金等調整前四半期純利益	8,736	34,923
法人税等	2,454	5,279
四半期純利益	6,281	29,644
非支配株主に帰属する四半期純利益	87	1,442
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,193	28,202

四半期連結 損益計算書のポイント

④ 営業収益

TIATの連結子会社化による旅客取扱施設利用料収入、免税売店売上の増加等により前年同期比27.2%増の1,374億2千3百万円となりました。

⑤ 販売費及び一般管理費

TIATの連結子会社化による国有財産使用料および減価償却費の増加等により、前年同期比で増加しております。

(注)「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。前連結会計年度につきましても当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

会社概要

(2018年9月30日現在)

会社概要

商号	日本空港ビルディング株式会社 Japan Airport Terminal Co., Ltd.
設立	1953年7月20日
資本金	174億8,920万円(東証一部上場)
事業内容	(1) 羽田空港旅客ターミナルビルの建設、管理運営 (2) 物品販売業務 (3) その他のサービス業務

本社および営業所など

本社	東京都大田区羽田空港三丁目3番2号 (第1旅客ターミナルビル)
東京事務所	東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 (丸の内ビルディング14階)
成田営業所	千葉県成田市古込字込前164番地 (成田国際空港内コスモビル)
大阪営業所	大阪府泉南郡田尻町泉州空港中1番地
中部営業所	愛知県常滑市セントレア一丁目1番地 (旅客ターミナルビル3階)

役員

代表取締役会長兼CEO	鷹城 勲
代表取締役社長執行役員兼COO	横田 信秋
代表取締役副社長執行役員	鈴木 久泰
取締役副社長執行役員	赤堀 正俊
取締役副社長執行役員	宮内 豊久
取締役副社長執行役員	大西 洋
専務取締役執行役員	米本 靖英
常務取締役執行役員	加藤 勝也
常務取締役執行役員	川下 晴久
常務取締役執行役員	石関 佳志
常務取締役執行役員	田中 一仁
取締役(非常勤)	高木 茂
取締役(非常勤)	原田 一之
取締役(非常勤)	植木 義晴
取締役(非常勤)	長峯 豊之

監査役	小野 哲治
監査役	古賀 洋一
監査役(非常勤)	竹島 一彦
監査役(非常勤)	岩井 幸司
監査役(非常勤)	柿崎 環
上席専務執行役員	知久 守一
上席専務執行役員	岩松 孝昭
上席専務執行役員	田口 繁敬
常務執行役員	徳武 大介
常務執行役員	藤野 威
常務執行役員	小山 陽子
常務執行役員	稲葉 一雄
常務執行役員	神宮寺 勇
常務執行役員	上原 貴宏
常務執行役員	足立 仁
執行役員	林 秀樹

株主優待のお知らせ

当社では3月31日時点の株主さまに対して、毎年6月下旬の年1回、株主ご優待券を贈呈させていただいております。

優待内容

	株主さま全員に		3年以上保有の株主さまに
ご所有株式数 100株以上 1,000株未満	株主ご優待券 1枚 1,000円分 	+	株主ご優待割引券 割引券(10%引) 5枚 
ご所有株式数 1,000株以上 10,000株未満	株主ご優待券 2枚 2,000円分 	+	長期保有優待 VJAギフトカード1,000円券 2枚 
ご所有株式数 10,000株以上	株主ご優待券 3枚 3,000円分 	+	長期保有優待 VJAギフトカード1,000円券 3枚 

ご利用になれる店舗／対象となる株主さま

- 株主ご優待券：羽田空港旅客ターミナル内店舗をはじめとする当社指定の店舗にてご利用いただけます。
- 株主ご優待割引券：羽田空港、成田空港、関西空港および中部空港等の当社指定の免税店舗でご利用いただけます。

株主ご優待券

- 羽田空港第1・第2・国際線旅客ターミナル、成田空港、関西空港および中部空港の当社指定の店舗
- Japan Duty Free GINZA(三越銀座店8階)
- Air Bic Camera
※一部店舗、商品(金券など)によってはご利用いただけません。

※Japan Duty Free GINZAは空港型市中免税店です。羽田空港または成田空港から国外へ出国されるお客さまがご利用いただけます。なお、商品の購入にはパスポートと出国日時がわかるもの(航空券等)が必要となります。

※ご利用可能店舗は、新規オープン・撤退・業態変更等により変わる場合がございますことをご理解賜りますようお願い申し上げます。

株主ご優待割引券

- 羽田空港国際線旅客ターミナル、成田空港、関西空港および中部空港の当社指定の店舗
- Japan Duty Free GINZA(三越銀座店8階)
※店舗によっては一部ご利用いただけません。

長期保有優待

- 対象：保有継続期間が3年を超える株主さま(毎年3月31日現在の株主名簿に、当社株式1単元(100株)以上の株主として記載または記録され、かつ、同一株主番号で9月30日および3月31日の株主名簿に連続7回以上記載または記録された株主さま)

詳しくは、以下のURLをご覧ください。

http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/stock_information/preferential.html